

## 母子保健における民間活動に関する研究

### 1. 母子保健における民間活動に関する研究

中村 敬<sup>1)</sup> 泉美智子<sup>2)</sup> 石山節子<sup>3)</sup> 江井俊秀<sup>4)</sup> 飯島晴美<sup>4)</sup> 野辺明子<sup>5)</sup>  
長坂典子<sup>6)</sup> 相場静子<sup>7)</sup> 中村安秀<sup>8)</sup> 内田 章<sup>1)</sup> 布田佳子<sup>1)</sup>

#### 【研究の要約】

今年度はリサーチクエッションに基づき、全国電話相談室の実態調査、民間の草の根的母子保健活動を探るため、育児雑誌の投稿欄に投稿してきた母親たちに、そのグループ活動の内容などについて調査を行った。さらに、利用者のニーズと評価を求めて、流通店舗内の母子保健相談室に入室した相談者に対してアンケート調査を行った。また、農村部における歴史ある地域活動である愛育班活動について、住民の評価を計る目的で、地域住民に対するアンケート調査を実施した。次年度はこの結果をもとに、電話相談室、患者・親の会のディレクトリーの作成と、電話相談のあり方、各民間活動に対する行政の支援のあり方、行政の母子保健事業への取り込みについて検討する予定である。

見出語：民間活動、電話相談、子育てグループ、店舗、育児相談、愛育班

#### 【研究目標】

本格的な少子時代を向かえ社会的問題として、育児不安が増加し、これらに対する対策が重要課題として認識されている。そして、これらに対する対応は行政における各種の母子保健サービスのみならず、民間における母子保健活動に

負うところが大きい。しかしながら、民間における母子保健活動はその実態が不明瞭な部分も多く、これらの実態を明らかにすることと、これらに対する市民のニーズを探ること、さらに、これらの活動がいかなる評価を得ているのかを把握することを目標として研究を実施している。

- 
- 1) 東京都母子保健サービスセンター      2) 株式会社泉事務所  
3) 恩賜財団母子愛育会愛育班推進本部  
4) 財団法人母子衛生研究会      5) 先天性四肢障害児父母の会      6) 東京都中部精神保健センター  
7) 主婦の友社私の赤ちゃん編集部      8) 東京大学医学部小児科

## 【研究方法】

今年度は、リサーチクエッションに基づき、以下の実態調査を実施した。

- 1) 把握できた範囲の全国の民間電話相談室195室（母子保健関連）に対して、相談件数、夜間対応の有無、土日対応の有無、相談員の資格、医師等専門家の有無などについて記名式アンケート調査を行い、その実態の把握を行った。さらに、母子保健サービスセンターの1992年分の電話相談約12,000件について、相談内容の分析集計を行った。
- 2) 一般の母親たちが、自主的にどんな活動をしているのかを知るために、育児雑誌の投稿欄に、投稿してきた母親たち、300人に対して、活動内容、活動場所、活動目的、メンバーの数活動する上での支障などについての実態調査を行った。
- 3) 全国の患者・親の会86団体に対して、活動内容、会員数、活動目的、活動上の問題点などについて、記名式調査票により実態調査を行った。
- 4) 母子衛生研究会が協賛する全国の流通店舗内の母子保健相談室265箇所のうち、120箇所を抽出し、それぞれ5名の来室者（合計600名）に対して、利用者の評価とニードを探る目的で、利用目的、内容、感想などについてアンケート調査を行った。
- 5) 愛育班活動に対して、住民の直接評価を得る目的で、県愛育連合会または愛育会県支部の設置されている全国6都道府県（秋田、埼玉、山梨、兵庫、香川、大分）、600世帯に対して、愛育班活動の必要性、今後継続のあり方に関するアンケート調査を行った。

6) これらの5つの調査において、属性部分とこれからの育児で利用を望んでいる施設や制度、育児情報の収集先について、各調査の共通質問項目を設定した。

## 【結果】

各調査の回収率は電話相談室調査では、有効回答数113件（57.9%）、自主活動グループの調査では、有効回答数184（61.3%）、患者・父母の会調査では、有効回答数36件（41.9%）、流通店舗調査では有効回答数478件（79.7%）、愛育班調査では有効回答数527件（81.1%）であった。

1) 全国民間電話相談室の調査：地域別にみると、約43%が東京で、電話相談件数は半数の電話相談室で、1時間0.5～2件/電話器1台程度と小規模であった。件数（電話器1台あたり1時間）が5件以上のところは10箇所に過ぎず、これらは、雑誌を媒体とした電話相談室であった。保有電話器は数十台という大規模なところもあるが、85%以上は1～3台であった。土・日対応しているところは約25%、土曜日のみ対応しているところは17%、夜間対応しているところは約37%であり、相談内容は妊娠と育児に関するものが最も多く、約半数を占めていた。約85%の電話相談室では保健・医療の有資格者がおり、このうち、顧問の医師をおいているところは約80%であった。また、相談員は専業ではなく、他に仕事を持っていた。この結果からみると、電話相談の実態は都市部、とくに東京に集中しており、育児やマタニティー雑誌を媒体とした約5%程度の電話相談室が集中して利

用されている実態が明らかになった。今回別に検討した母子保健サービスセンターの夜間電話相談の集計でも内容的には75%が子どものことに関してであり、残り25%が相談者自身のことに関する相談であった。これは昨年調査した民間の電話相談室の集計と一致しており、多くはちょっとした気がかりや生活のことが殆どであり、一般の母親たちのうち電話相談の利用経験者は地域や調査客体により異なるが、約10~20%の範囲のようである。

2) 自主活動グループの調査：グループのメンバー数は20人以上と答えたものが、60%で最も多く、中には1000人規模のグループも含まれていた。しかし、今回の調査は育児雑誌の購読者を対象にしたため、どちらかという、遠心的にグループを広げようとする意志の強い母親達であるため規模の大きいものが集まったものと考えられる、保健所や保健センターの健診は77%が必ず受診しており、全く受診していないものが5%にみられた。活動の場所はメンバー数により異なるが、メンバーの家が最も多く、ついで公園、地区センターや集会所であり、なかにはカラオケボックスと答えたものもあり、多くの意見として、活動の場所の確保に苦勞し、行政の援助を求めている。活動回数は月1回ぐら이가最も多く、60%以上は活動に満足感をもっていた。活動の内容は情報交換、親同士の交流が最も多く、親子遊び、運動、人形劇など独自工夫を凝らしていた。また、約34%の母親は子育てグループ以外の他のサークルにも参加していた。

3) 全国患者・親の会調査：36団体から回答が寄せられたが、会員相互の体験交流、情報交換が主な活動目的になっているが、それぞれ、様々な活動を行っている。具体的な活動内容は会員相互の情報交換が最も多く、次いで、会員相互の親睦、機関誌の発行、一般社会への啓蒙活動、行政への陳情が主なものになっていた。活動上の問題は、多くの団体で、資金不足、マンパワーの不足に苦しんでおり、結成しても解散するものが多いのが実態のようであった。

4) 流通店舗内母子保健相談：相談に来室した母親のうち57.3%は保健所や保健センターの育児相談を利用しており、その他の気楽に利用できる場所として、相談室を考えているようである。相談内容も子どものことが中心で、身体計測やちょっとした生活の相談が主であり、初回利用者より再利用者の比率が高い。また、就労婦人は土曜日の相談を望んでおり、専業主婦でも父親同伴の育児相談を望むものは土曜日を挙げている。半数の人は勉強会などへの出席を希望しており、予約制は大方が不賛成とし、いつでも気楽に利用できることを求めている。

5) 愛育班活動：本調査は世帯調査であり、回答者の世代によって、多少評価は異なるが、概して、約60~65%の住民はこの活動が有益であると考えており、約75%の住民が今後もこの地域活動の継続を望んでいる。今後の活動のあり方に関しては、この活動の継続を望む住民のうち、今までどおりでよいと回答しているものは、66%であり、他は改善を求めている。役立っている内容は、情報の提供とコミュニケーション

であり、今後改善の余地はあるが、地域に根ざした活動と評価できる。

#### 6) 共通調査項目についての分析

共通調査項目は、出産や育児情報の入手先、悩みの相談相手、子育てで利用したい施設や制度について、質問してみた。結果は図に示したが、情報の入手先は、友人、雑誌、父母と答えているものが多く、保健婦を情報源としているものは愛育班調査で高かった。このことは、親しい友人やサークルが直接の情報入手源であり、育児雑誌等のマスメディアからの情報収集が大きな比重を占めていることがわかる。

悩みの相談相手は各調査とも、夫、友人、父母など身近な人たちであり、自主グループの調査では、サークルのメンバーに重きがおかれ、愛育班調査では父母や地域の保健婦に重きが置かれていた。

子育てで利用したい施設や制度についての回答は、調査客体によるばらつきが大きいが、流通店舗調査では近くの公園や遊び場の整備、授乳室や子連れで利用できる公衆トイレなどの整備、育児手当の増額、育児のための休暇制度の充実が求められている。自主グループの調査では、同様に近くの公園や遊び場、授乳室や子連れで利用できるトイレの整備、育児手当の増額などの希望が多いが、育児休暇制度の充実より、いつでも利用できる託児所の整備を望んでいる。愛育班調査では、全体に要求度が低いようであるが、調査自体の問題として、選択肢が都市型に傾いていたことが考えられる。しかし、近くの公園や遊び場の整備、育児手当の増額といった要望は共通して高いようである。

#### 【考察】

本年度は母子保健に関する民間活動として、活発な動きをみせている電話相談、患者および父母の会、流通店舗内での母子保健相談、自主育児グループ、愛育班活動について、それぞれ、実態調査を行った。全体の結果から類推すると、利用者はそれぞれ、自分の好みや場面によりこれらの母子保健サービスを適当に選択し、うまく利用しているように思う。都市型のサービスである電話相談は、約10～20%ぐらいの人たちが利用した経験を持っており、今後も利用者は増加するものと考えられる。民間の多くの電話相談室のうち、利用件数の多いところは雑誌などのマスメディアをPR媒体としている電話相談室で、全国でみても約10室に過ぎない。多くの場合、医師を顧問においており、その他、何らかの保健医療の有資格者を抱えていることが判明した。

患者やその親の会は同じ悩みをもったもの同士が、自主的に交流をもち、情報の交換や相互理解を柱として、一般社会や執政者への啓蒙活動を通して、とかく隅に追いやられてしまいがちなリスクポピュレーションへの理解と実のある対策を求めて、公的援助の得られないまま、苦しい資金繰りや人材不足の中で活動している姿が浮かび上がっている。したがって、結成しては消え、結成しては消えていく宿命を負った民間のボランティア活動であることがわかる。

これからの母子保健サービスを考えたときに、こういったリスクポピュレーションに対して、単に治療費などの公的助成を行うだけでなく、自主的に結成された団体に対して、運営資金等

の側面援助を考慮していく必要がある。また、こうした団体を通して、患者の生の声を直接聞くような、開かれた行政窓口を構築しておく必要もありそうである。

子育て支援の合い言葉の元で、保健所や市町村、福祉施設が中心になって、盛んに子育てグループを育成している。今回は、自主的に結成された子育てグループを標的にして、活動実態を調査したが、育児雑誌に記事を投稿した母親たちを対象にしたため、グループの規模も比較的大きく、全国に支部をもつ1000人規模の団体も含まれていた。活動の場所はメンバーの家というのが最も多いが、規模が大きくなると、公民館などの公的施設の利用率が高くなっていた。行政からの援助として、活動場所の提供が強く求められていた。患者の会も含めて、このような自主活動グループでは、活動場所の確保に苦慮している姿が浮かび上がる。会費以外に資金援助の道を持たないわけであるから、事務所の設置や活動場所の確保に、苦勞するのは当然である。したがって、具体的に活動場所の提供に関する支援（資金または公的施設の提供）が行政の行う第一の役割となろう。

デパートなどで行われている母子保健相談も広く利用されている。今回、全国的な抽出調査を行ってみたが、利用者の6割は保健所の育児相談も利用しており、その間隙を縫って、身体計測やちょっとした相談のために、店舗内相談コーナーを気楽に利用している姿が浮かび上がってくる。したがって、この相談窓口を唯一の拠り所としているのではなく、手軽な相談窓口として、活用しているようである。最近増加しているワーキングマザーに対する対策として、

休日を利用した育児相談や健診の体制を考える必要がある、とりわけ、行政における土日一斉閉庁には問題がある。今回の調査では、ワーキングマザーのみならず、父親同伴の健診や育児相談には土曜日の午後が最適であることがわかった。

愛育班活動は、農村部を中心に展開された地域活動であり、かつて、乳児死亡率の改善を目標にして活発な活動が行われた。現在は時代の変遷とともに姿を変え、地域住民のコミュニケーションを主たる目的にした地道な地域活動を展開している。したがって、母子から老人まで全家族を対象にした地域の健康増進のための活動になっている。今回の調査は、直接地域住民に対して愛育班活動に関する意見を聞いたものである。結果から推測されることは、6割以上の住民がこの活動の意義を認めており、7割以上の住民が、今後の継続を望んでいる。しかし、活動方法などに関して改善の余地のあることを、自由な記載の中で指摘しており、今後の展開に応用できそうである。母子保健法が改正され、母子保健事業が市町村事業に組み込まれることが決まっており、愛育班活動はこの中にあって、農村地区を中心として、行政と住民との間のインターフェイス的な役割を担った重要な地域活動といえることができる。とくに、都市部以上に過疎化、高齢化の進んでいる農村地区では、高齢者に対する地域活動としても、重要な役割を担っていることになろう。

最後に、本稿において紹介した数値と各個の報告に示された数値が若干異なるが、これは、本稿ではアンケート回収後に寄せられた回答も含めたためであることをお断りしておく。

## まとめ

- 1) 民間の電話相談室は約43%が東京、件数の多い大規模型は10箇所程度で、雑誌をPR媒体にしている。約8割方は医師を顧問にしている。
- 2) 自主育児グループは、活動場所の確保に苦慮しており、活動場所の提供を行政に求めている。
- 3) 患者・親の会は資金難と人材不足に喘いでおり、援助を求めている。
- 4) 流通店舗内の母子保健相談は、身体計測やちょっとした生活の相談など気楽に利用できる相談コーナーとして利用されており、ファンも多い。また、就労婦人では土曜日の午後の利用を望んでいる。
- 5) 愛育班活動に対する住民の評価は6割以上の住民が地域に役立つ活動と評価し、7割以上の住民が今後も活動の継続を望んでいる。

子育て自主グループ調査結果（抜粋）

Q1：保健所や市町村の定期健診を受けているか						
	-24	25-29	30-34	35-39	40-44	総計
1. 必ず受けている	63.24	86.25	80.65	50.00	100.00	76.63
2. ときどき受けている	23.53	10.00	12.90	50.00	0.00	15.76
3. 受けていない	8.82	2.50	3.23	0.00	0.00	4.89
4. その他	1.47	1.25	3.23	0.00	0.00	1.63

Q6：メンバーは何人位か						
回答者年齢	-24	25-29	30-34	35-39	40-44	総計
1. 5人以下	5.88	6.25	3.23	0.00	0.00	5.43
2. 6～10人	8.82	11.25	3.23	50.00	0.00	9.78
3. 11～20人	20.59	12.50	6.45	50.00	0.00	14.67
4. 20人以上	58.82	56.25	83.87	0.00	0.00	60.87
不明	5.88	13.75	3.23	0.00	100.00	9.24

Q10：活動の場所はどこか						
メンバー数	5人以下	6～10人	11～20人	20人以上	不明	合計
1. 公園	40.00	44.44	37.04	45.54	0.00	39.67
2. 地区センター・集会所	0.00	11.11	18.52	26.79	5.88	20.65
3. レストラン	10.00	11.11	11.11	8.93	5.88	9.24
4. メンバーの家	80.00	61.11	59.26	50.00	5.88	50.00
5. 児童館	0.00	11.11	7.41	8.93	0.00	7.61
6. 公民館	0.00	0.00	11.11	12.50	0.00	9.24
7. 保健所・保健センター	0.00	5.56	0.00	4.46	0.00	3.26
9. 空き地	0.00	5.56	0.00	0.00	0.00	0.54
10. その他	30.00	44.44	48.15	46.43	0.00	41.30

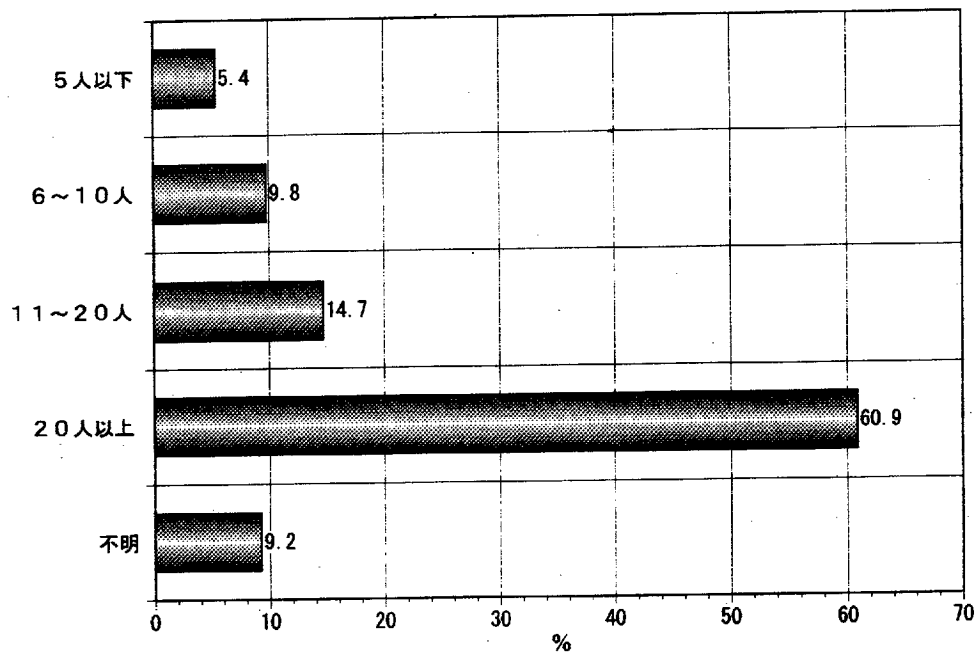
Q11：活動の回数はどのくらいか						
メンバー数	5人以下	6～10人	11～20人	20人以上	不明	合計
1月1回ぐらい	50.00	16.67	59.26	46.43	0.00	41.30
1月2回ぐらい	20.00	22.22	3.70	10.71	0.00	10.33
1月3回ぐらい	10.00	0.00	0.00	1.79	0.00	1.63
1月4回ぐらい	0.00	11.11	11.11	4.46	0.00	5.43
1月5回以上	0.00	0.00	0.00	0.89	0.00	0.54
2月1回ぐらい	0.00	22.22	3.70	12.50	0.00	10.33
3月1回ぐらい	0.00	0.00	3.70	0.89	0.00	1.09
6月1回ぐらい	0.00	0.00	0.00	0.89	0.00	0.54

Q14：グループ活動に関する印象						
回答者年齢	-24	25-29	30-34	35-39	40-44	総計
1. 満足	36.76	25.00	38.71	50.00	0.00	31.52
2. やや満足	26.47	27.50	35.48	0.00	0.00	28.26
3. まあまあ	14.71	21.25	22.58	50.00	0.00	19.02
4. やや不満	8.82	10.00	0.00	0.00	0.00	8.15
5. 不満	2.94	0.00	0.00	0.00	0.00	1.09
無回答	10.29	16.25	3.23	0.00	100.00	11.96

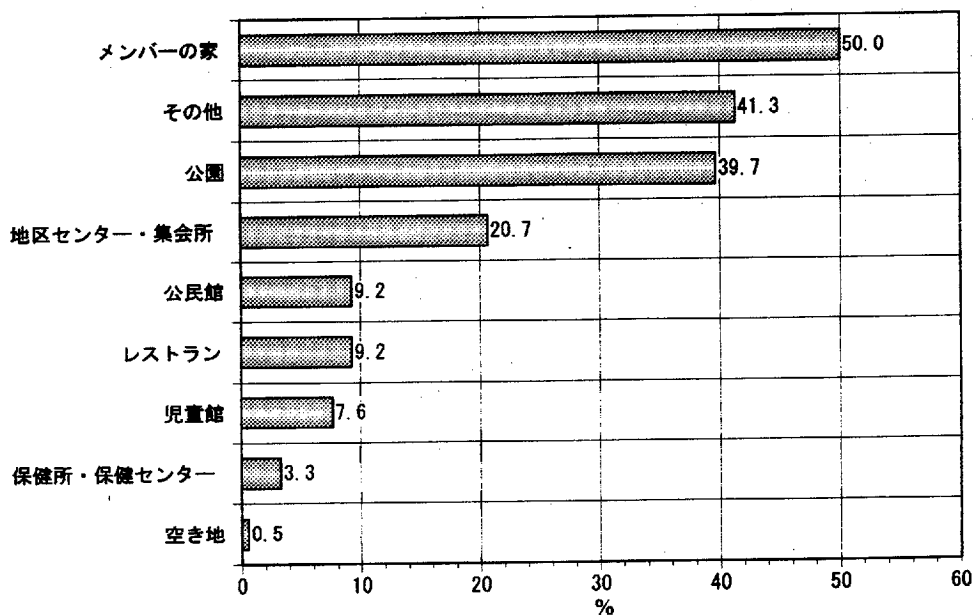
Q15：子育てグループ以外のグループに入っているか						
回答者年齢	-24	25-29	30-34	35-39	40-44	総計
1. 入っている	29.41	26.25	58.06	100.00	0.00	34.24
2. 入っていない	58.82	60.00	32.26	0.00	0.00	53.26
無回答	11.76	13.75	9.68	0.00	100.00	12.50

問：メンバーは何人ぐらいか

グループのメンバー

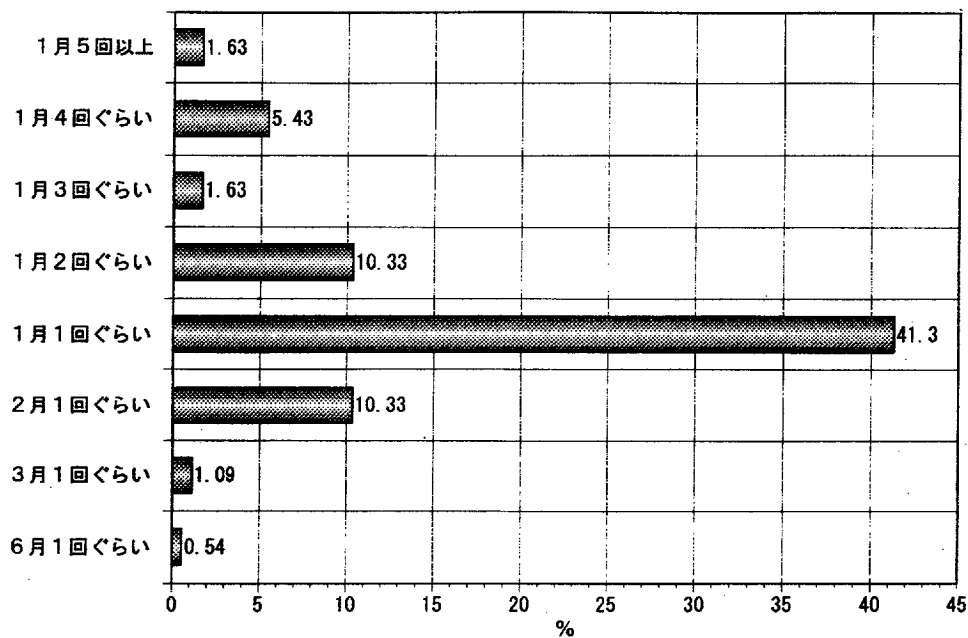


問：活動の場所はどこか

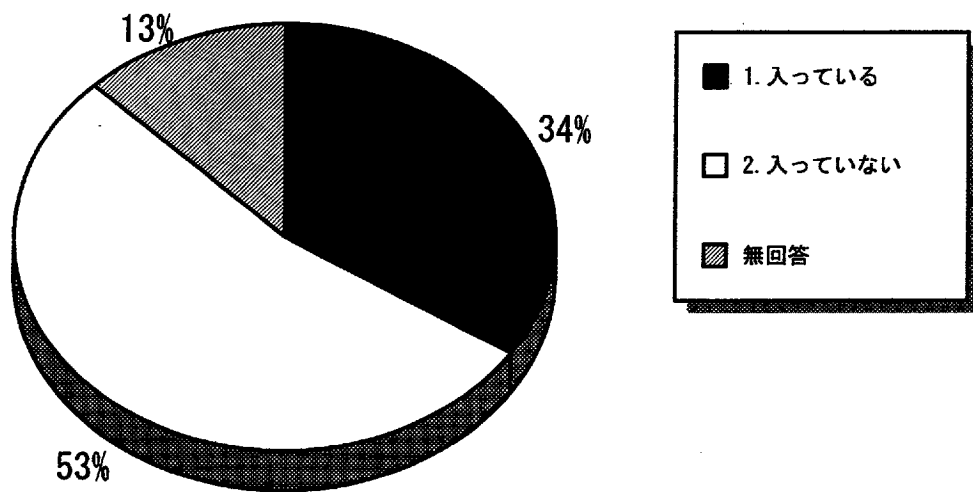




問：活動回数は



問：子育てグループ以外のグループ活動への参加



流通店舗内母子保健相談に関する調査報告（抜粋）

問-7：相談後の感想は

	常勤	非常勤	自営業	専業主婦	その他	合計
1. 悩みが解消した	2.27	15.38	0.00	6.63	0.00	6.26
2. 有効なアドバイスが得られた	63.64	46.15	81.82	54.08	66.67	55.51
3. 気持ちが落ちついた	27.27	38.46	18.18	34.18	0.00	33.05
4. 相談前と変わらない	6.82	0.00	0.00	3.32	0.00	3.46
5. 不安が増した	0.00	0.00	0.00	0.00	33.33	0.22
6. その他	0.00	0.00	0.00	1.79	0.00	1.51
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

問-12.1：相談室を利用しやすい曜日はいつですか

	常勤	非常勤	自営業	専業主婦	その他	合計
1. 平日	26.67	30.77	76.92	63.66	100.00	59.83
2. 土曜日	53.33	46.15	15.38	28.57	0.00	30.87
3. 日曜日	20.00	23.08	7.69	7.27	0.00	8.88
4. 土・日曜日	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.42
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

問-12：相談室を利用しやすい曜日とその理由は

	常勤	非常勤	自営業	専業主婦	その他	合計
1. 自分の勤務が休みだから	47.73	38.46	15.38	1.50	0.00	7.20
2. 主人の勤務が休みだから	15.91	7.69	0.00	24.06	0.00	22.03
3. 外出しやすい	15.91	15.38	30.77	28.32	0.00	26.69
4. 店や売場のイベントが多い	2.27	0.00	0.00	3.01	0.00	2.75
5. 店がすいている	18.18	23.08	46.15	38.35	100.00	36.65
6. その他	0.00	15.38	7.69	4.76	0.00	4.66
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

問-13：利用しやすい時間帯はいつですか

	常勤	非常勤	自営業	専業主婦	その他	合計
1. 午前中	37.78	23.08	30.77	40.30	66.67	39.49
2. 12時～1時	6.67	15.38	7.69	9.32	0.00	9.13
3. 1時～4時	53.33	53.85	61.54	50.38	33.33	50.96
4. 4時以降	2.22	7.69	0.00	0.00	0.00	0.42
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

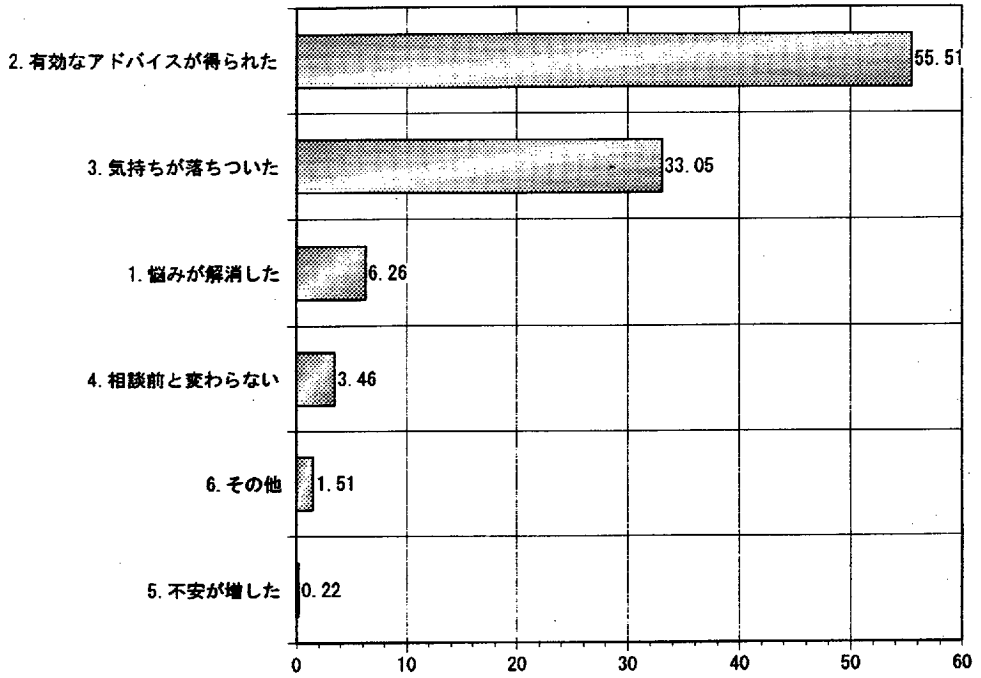
問-15：あなたが相談員に求めるものは何ですか

	常勤	非常勤	自営業	専業主婦	その他	合計
1. 健康や病気の専門知識	53.33	46.15	53.85	45.36	100.00	46.72
2. 育児に関する情報	55.56	61.54	61.54	62.66	33.33	61.73
3. ちょっとした工夫	57.78	30.77	38.46	49.62	0.00	49.26
4. 何でも話せる話相手	33.33	61.54	46.15	40.60	66.67	40.80
5. その他	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.63
職業別件数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

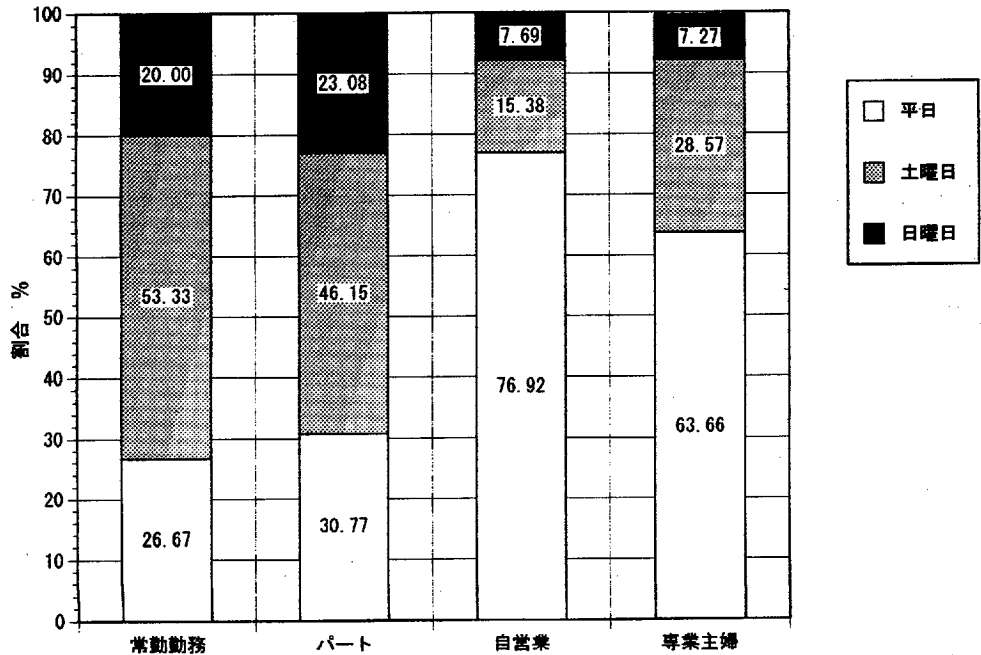
問-17：もし、相談時間を予約制にしたら、今より利用しやすいかどうか

	常勤	非常勤	自営業	専業主婦	その他	合計
1. 利用しやすくなる	11.36	15.38	30.77	12.53	33.33	13.14
2. 今と変わらない	20.45	23.08	15.38	22.56	0.00	22.03
3. 利用し難くなる	68.18	61.54	53.85	64.91	66.67	64.83
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

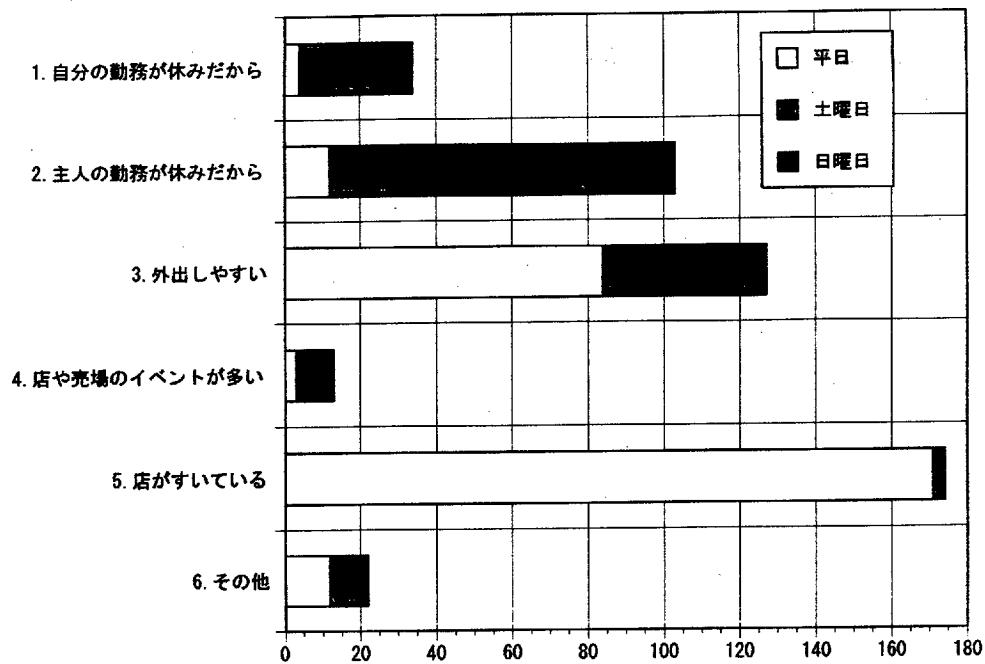
問：相談後の感想はどうであったか



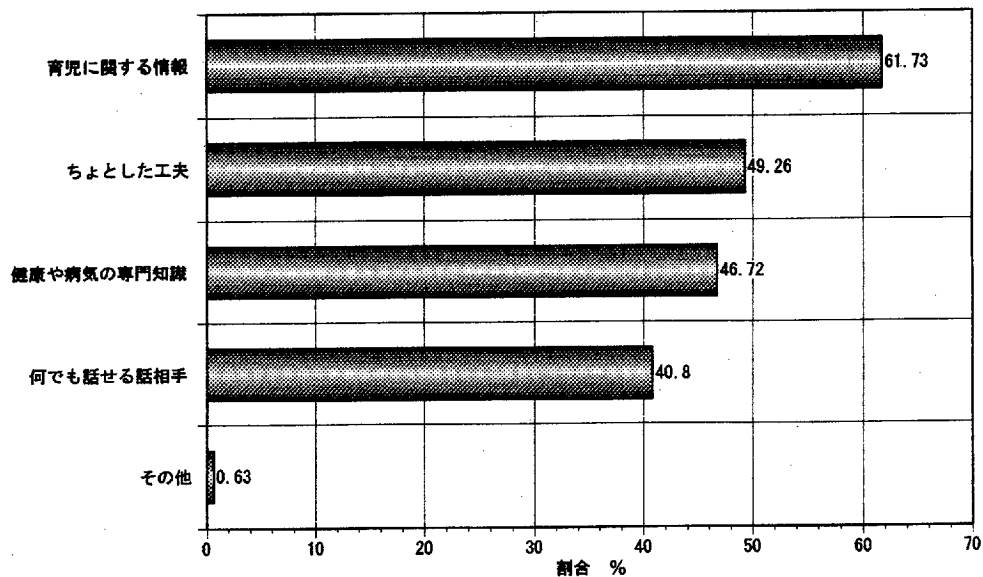
問：相談室を利用したい曜日はいつか



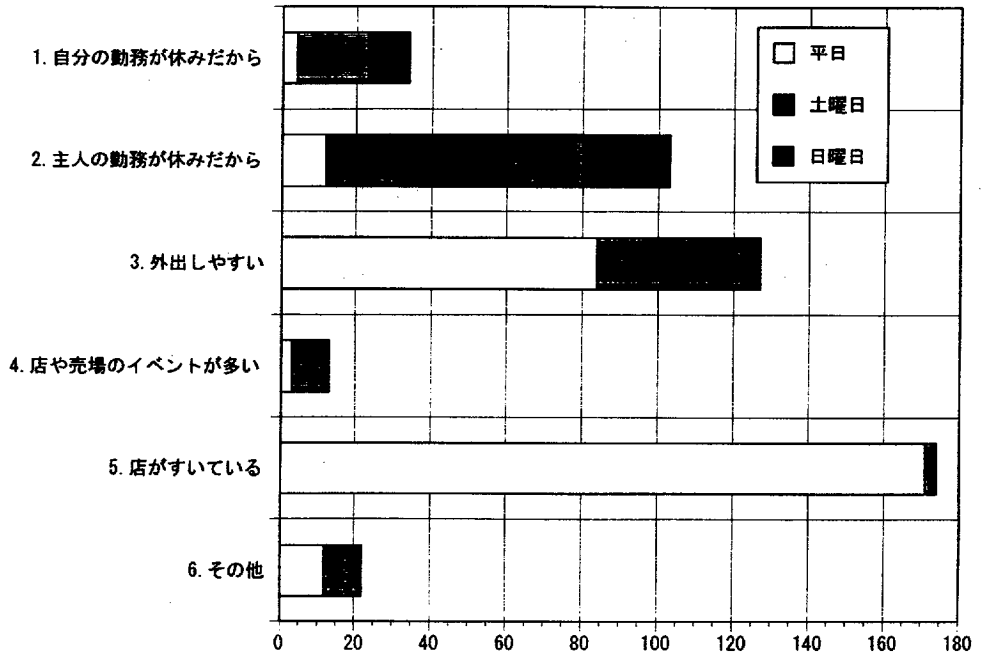
問：相談室を利用しやすい曜日とその理由



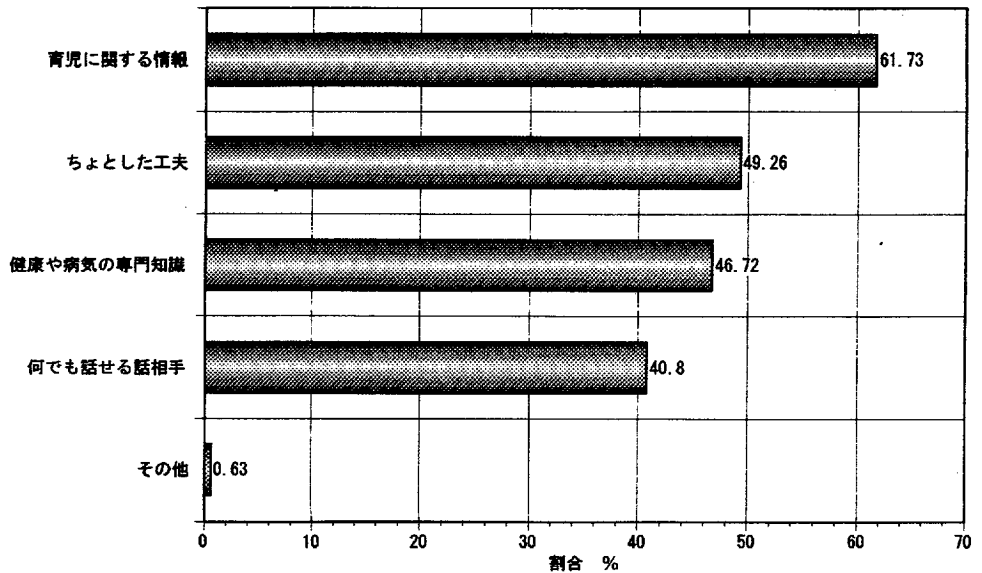
問：相談員に何を求めるか



問：相談室を利用しやすい曜日とその理由



問：相談員に何を求めますか



## 愛育班調査結果（抜粋）

回答者の年齢と家庭環境	記入者年齢						合計
	-24	25-29	30-34	35-39	40-49	50-	
0. 子どものいない家庭	0	3	3	5	14	28	53
1. 乳幼児のいる家庭	25	109	186	61	11	2	394
2. 大きな子どものいる家庭（学童以上）	0	1	29	31	18	3	82
合計	25	113	218	97	43	33	529

回答者の年齢と家庭環境	記入者年齢						合計
	-24	25-29	30-34	35-39	40-49	50-	
0. 子どものいない家庭	0.00	2.65	1.38	5.15	32.56	84.85	10.00
1. 乳幼児のいる家庭	100.00	96.46	85.32	62.89	25.58	6.06	74.34
2. 大きな子どものいる家庭（学童以上）	0.00	0.88	13.30	31.96	41.86	9.09	15.66

%は列の合計に対する割合

Q6：愛育班活動は役立っているか	記入者年齢						合計
	-24	25-29	30-34	35-39	40-49	50-	
1. 思う	56.00	67.26	62.96	58.76	64.29	76.67	63.67
2. 思わない	4.00	10.62	8.80	10.31	11.90	3.33	9.18
3. わからない	40.00	22.12	28.24	30.93	23.81	20.00	27.15

%は列の合計に対する割合

Q7：役だった点は何か	記入者年齢						合計
	-24	25-29	30-34	35-39	40-49	50-	
1. 子育ての相談相手	57.14	38.16	45.59	42.11	25.93	46.15	40.84
2. 子育て情報の入手	57.14	46.05	47.79	49.12	37.04	26.09	45.65
3. 乳幼児健診などの通知	14.29	34.21	40.44	36.84	55.56	47.83	39.04
4. 交流会や学習会への誘い	7.14	30.26	24.26	33.33	29.63	34.78	27.63
5. 訪問により安心感が得られる	28.57	19.74	22.79	8.77	18.52	17.39	19.52
6. 育児の参考になる	42.86	36.84	40.44	31.58	48.15	34.78	38.44
7. 保健婦さんとの連携で安心	28.57	22.37	33.09	38.60	51.85	69.57	35.44
8. 地域の人を知る機会が増加	14.29	39.47	39.71	35.09	48.15	56.52	39.64
9. カツげになる	14.29	10.53	15.44	14.04	22.22	56.52	17.42
10. 妊娠中の相談相手	7.14	14.47	14.71	14.04	11.11	8.70	13.51
11. 母親学級の案内	14.29	18.42	19.12	17.54	29.63	26.09	19.82
12. その他	0.00	3.95	2.94	5.26	0.00	8.70	3.60

%は年齢別件数に対する割合

Q9：これからも愛育班活動は必要か	記入者年齢						合計
	-24	25-29	30-34	35-39	40-49	50-	
1. 思う	79.17	73.21	72.56	68.75	68.29	87.88	72.99
2. 思わない	0.00	0.89	1.86	5.21	4.88	0.00	2.30
3. わからない	20.83	25.89	25.58	26.04	26.83	12.12	24.71

%は列の合計に対する割合

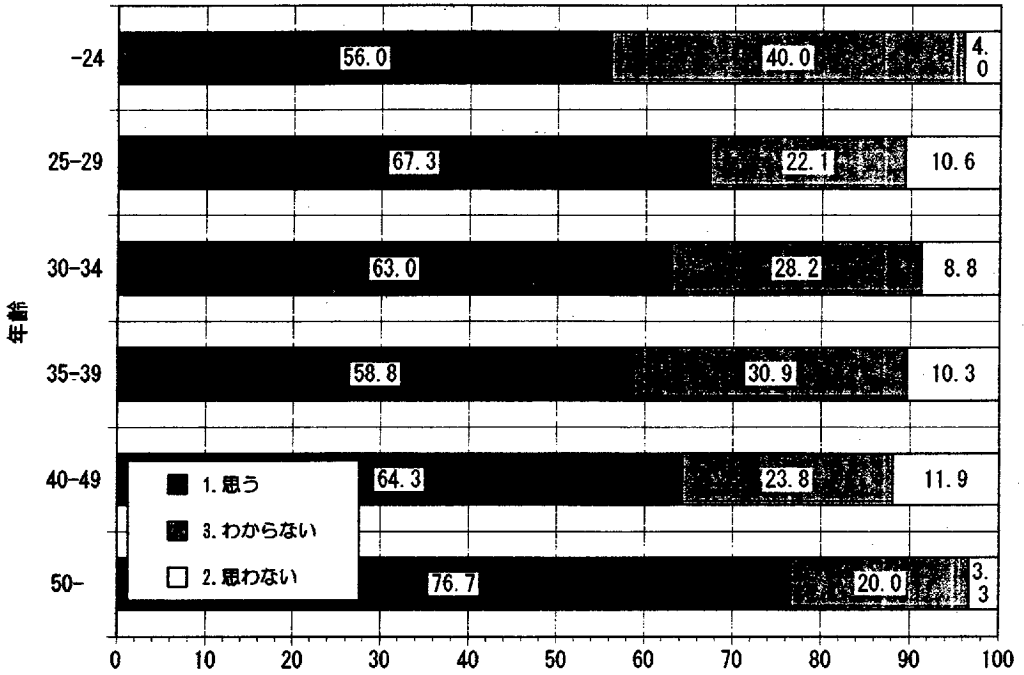
Q10：これからの活動はどのようにあればよいか	記入者年齢						合計
	-24	25-29	30-34	35-39	40-49	50-	
1. 今まで通りでよい	52.00	65.45	60.09	56.84	48.78	68.97	59.92
2. もっと訪問してほしい	20.00	20.91	26.29	18.95	39.02	31.03	24.71
3. わからない	28.00	13.64	13.62	24.21	12.20	0.00	15.37

Q6：愛育班活動は役立っているか	Q9：これからも愛育班活動は必要か					合計
	必要と思う	思わない	わからない			
1. 役だっていると思う	88.59	78.67	0.00	26.36	10.21	63.67
2. 役だっていると思わない	35.42	4.53	18.75	17.05	45.83	9.18
3. わからない	44.37	16.80	2.11	56.59	51.41	27.15

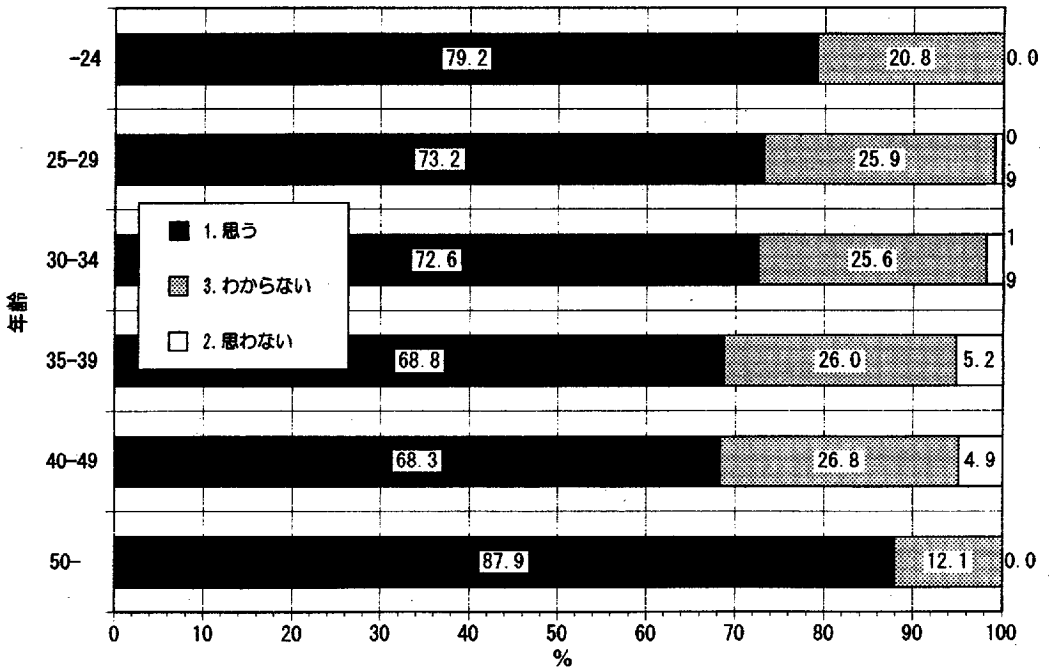
太文字：行合計に対する%

斜文字：列合計に対する%

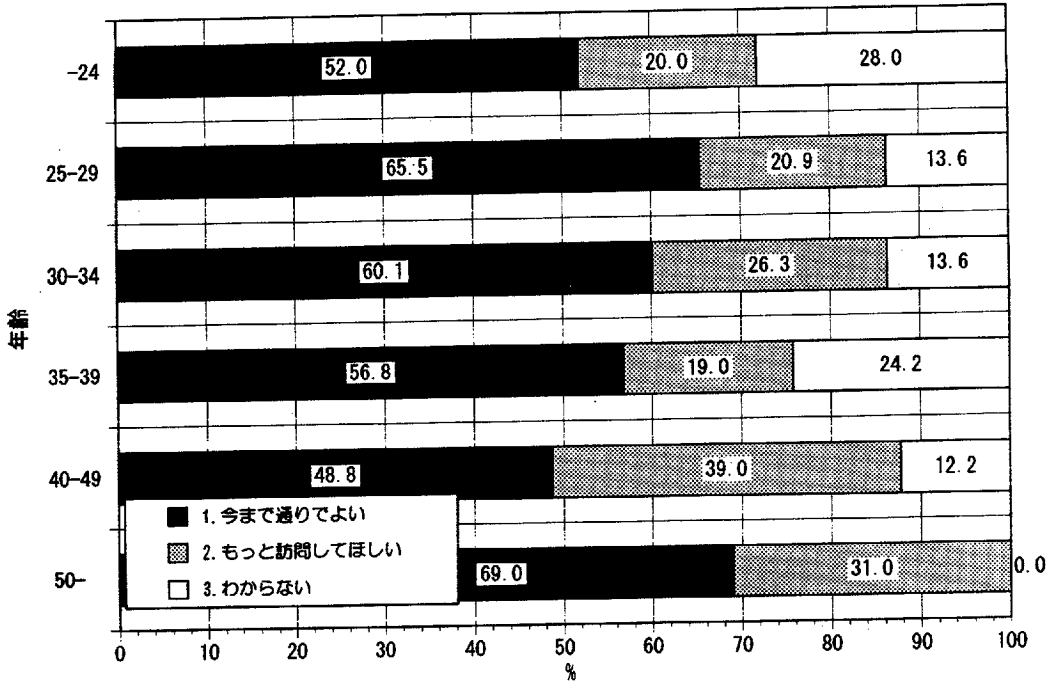
問：愛育班活動は地域の皆さんに役立っているか



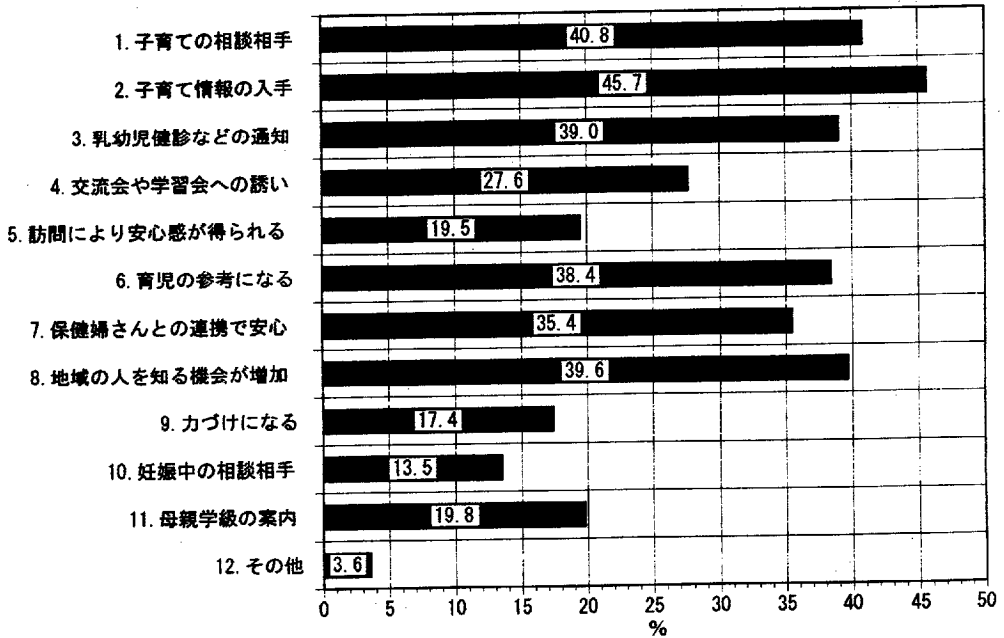
問：これからも愛育班活動は必要と思うか



問：これからの活動はどうあればよいか



問：愛育班活動はどのような点で役だっているか





調査共通項目の集計結果

出産や育児の情報の入手源	流通店舗調査		自主グループ調査		愛育班活動調査	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1. 夫	16	3.38	23	12.50	53	10.00
2. 友人	296	62.58	128	69.57	337	63.58
3. 姉妹	101	21.35	23	12.50	137	25.85
4. あなたや夫の父母	229	48.41	72	39.13	265	50.00
5. 近所の人	104	21.99	50	27.17	115	21.70
6. 保健所や市町村の保健婦	105	22.20	28	15.22	229	43.21
7. かかりつけの医師	102	21.56	38	20.65	168	31.70
8. 相談室	121	25.58				
8. 愛育班員					136	25.66
9. 電話相談	5	1.06	9	4.89	12	2.26
10. 雑誌	292	61.73	151	82.07	262	49.43
11. 新聞	20	4.23	42	22.83	76	14.34
12. 県や市町村の広報	25	5.29	23	12.50	79	14.91
13. 講習会	5	1.06	8	4.35	60	11.32
14. グループおよびサークル	17	3.59	135	73.37	67	12.64
15. その他	14	2.96	6	3.26	25	4.72
有効回答数	473	100.00	184	100.00	530	100.00

悩みの相談相手	流通店舗調査		自主グループ調査		愛育班活動調査	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1. 夫	150	31.71	104	56.52	343	64.72
2. 友人	125	26.43	132	71.74	308	58.11
3. 姉妹	37	7.82	24	13.04	155	29.25
4. あなたや夫の父母	102	21.56	84	45.65	257	48.49
5. 近所の人	10	2.11	15	8.15	45	8.49
6. 保健所や市町村の保健婦	13	2.75	13	7.07	125	23.58
7. かかりつけの医師	15	3.17	21	11.41	112	21.13
8. 相談室	39	8.25				
8. 愛育班員					58	10.94
9. 電話相談	4	0.85	10	5.43	5	0.94
10. グループやサークル			91	49.46		
11. なし			1	0.54	1	0.19
12. その他	2	0.42	5	2.72	19	3.58
有効回答数	473	100.00	184	100.00	530	100.00

流通店舗調査ではいずれか1つ選択、他の調査は複数選択

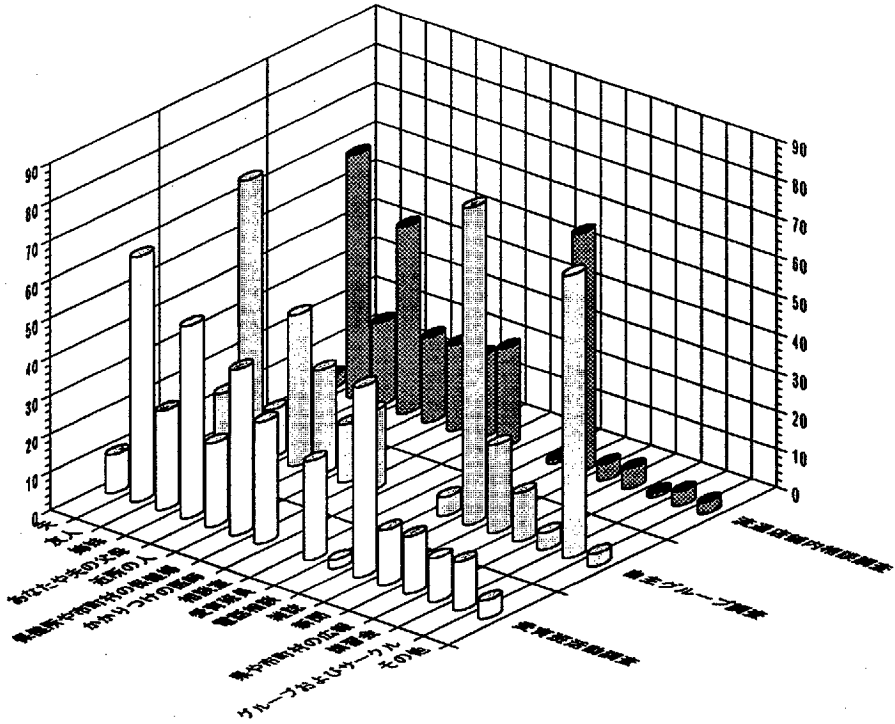
子育てで利用したことのあるもの	流通店舗調査		自主グループ調査		愛育班活動調査	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1. 託児施設	46	9.77	34	18.48	63	11.89
2. 保健所や市町村の育児相談	270	57.32	61	33.15	220	41.51
3. デパートなどの育児相談	385	81.74	31	16.85	23	4.34
4. 電話相談	104	22.08	33	17.93	24	4.53
5. ベビーホテル	2	0.42	8	4.35	1	0.19
6. 公園などの遊び場	381	80.89	141	76.63	290	54.72
7. 児童館	85	18.05	46	25.00	73	13.77
8. ベビーシッター	5	1.06	9	4.89	4	0.75
9. その他			10	5.43	17	3.21
有効回答数	471	100.00	184	100.00	530	100.00

今後子育てで利用したい施設や制度	流通店舗調査		自主グループ調査		愛育班活動調査	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1. 近くの公園・遊び場	468	99.15	142	77.17	378	71.32
2. 保健所や市町村の育児相談	405	85.81	48	26.09	191	36.04
3. デパートなどの育児相談	447	94.70	16	8.70	11	2.08
4. 電話相談	235	49.79	14	7.61	24	4.53
5. ベビーホテル	69	14.62	16	8.70	5	0.94
6. 保育所の子育て学級	344	72.88	56	30.43	185	34.91
7. 児童館	333	70.55	60	32.61	127	23.96
8. 車中や公共施設の授乳室	420	88.98	64	34.78	125	23.58
9. 子連れで利用できる公衆トイレ	444	94.07	121	65.76	184	34.72
10. 信頼できるベビーシッター	183	38.77	34	18.48	37	6.98
11. いつでも利用できる託児所	326	69.07	112	60.87	185	34.91
12. 育児手当の拡大・増大	445	94.28	111	60.33	252	47.55
13. 父親が育児参加できる休暇や制度	404	85.59	77	41.85	177	33.40
14. 有給の育児休暇	420	88.98	52	28.26	165	31.13
15. 愛育班員の訪問					86	16.23
有効回答数	472	100.00	184	100.00	530	100.00

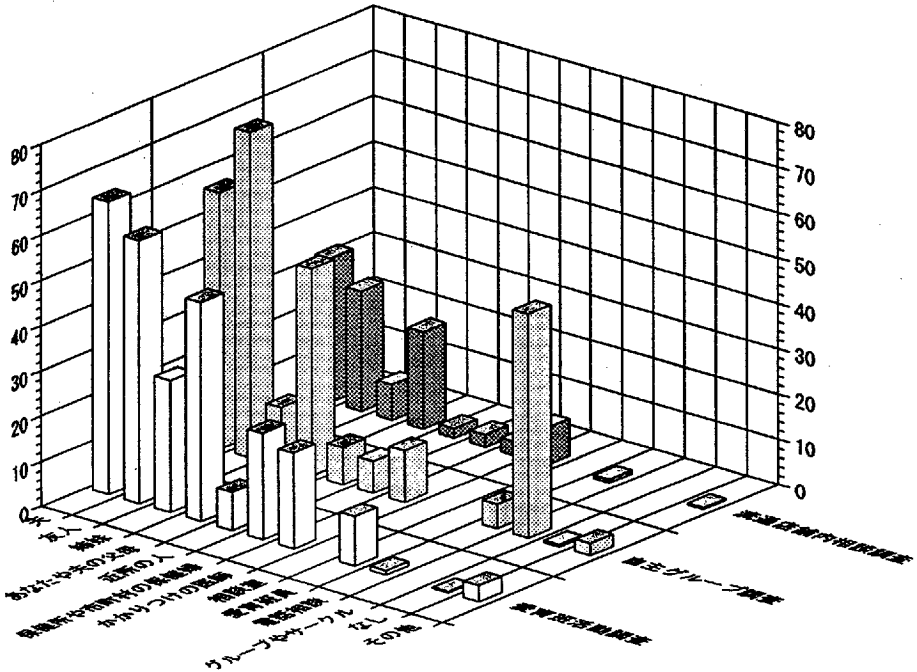
職業別分類	流通店舗調査		自主グループ調査		愛育班活動調査	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
常勤	45	10.51	8	4.35	126	23.77
非常勤	13	3.04	17	9.24	57	10.75
自営業	13	3.04	6	3.26	46	8.68
専業主婦	399	93.22	142	77.17	259	48.87
農林・漁業	0	0.00	0	0.00	15	2.83
内職					15	2.83
その他	3	0.70	9	4.89	9	1.70
有効回答数	428	100.00	184	100.00	530	100.00

回答者の年齢分布	流通店舗調査		自主グループ調査		愛育班活動調査	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
-24	42	8.88	68	36.96	25	4.72
25-29	214	45.24	80	43.48	113	21.32
30-34	152	32.14	31	16.85	218	41.13
35-39	36	7.61	2	1.09	97	18.30
40-49	3	0.63	1	0.54	43	8.11
50-59	0	0.00	0	0.00	14	2.64
60-	0	0.00	0	0.00	19	3.58
有効回答数	473	100.00	184	100.00	530	100.00

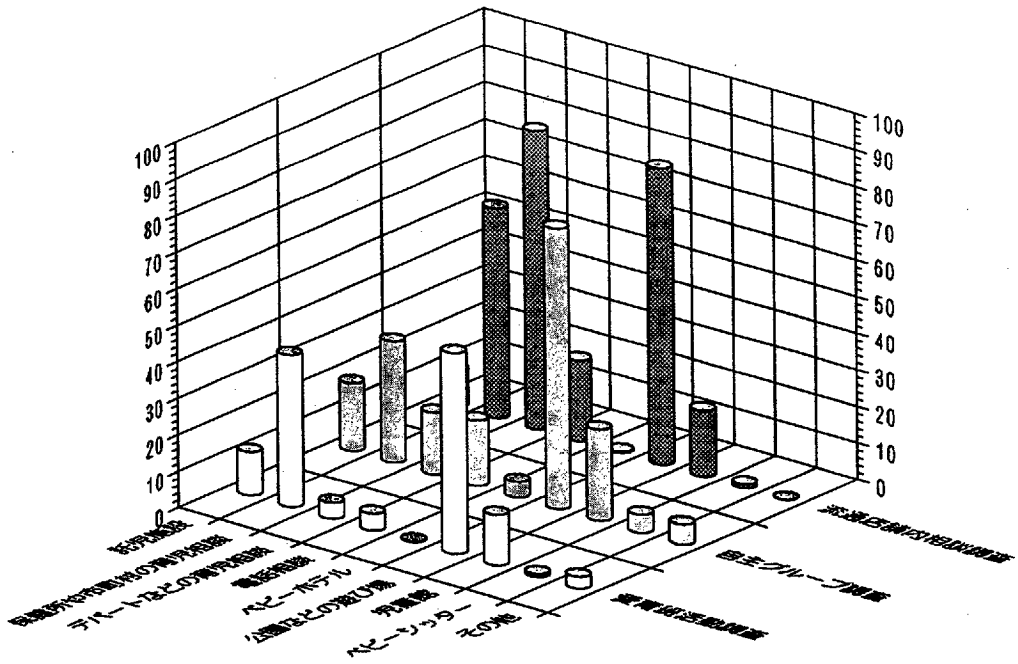
問：出産や育児に関する情報の入手源



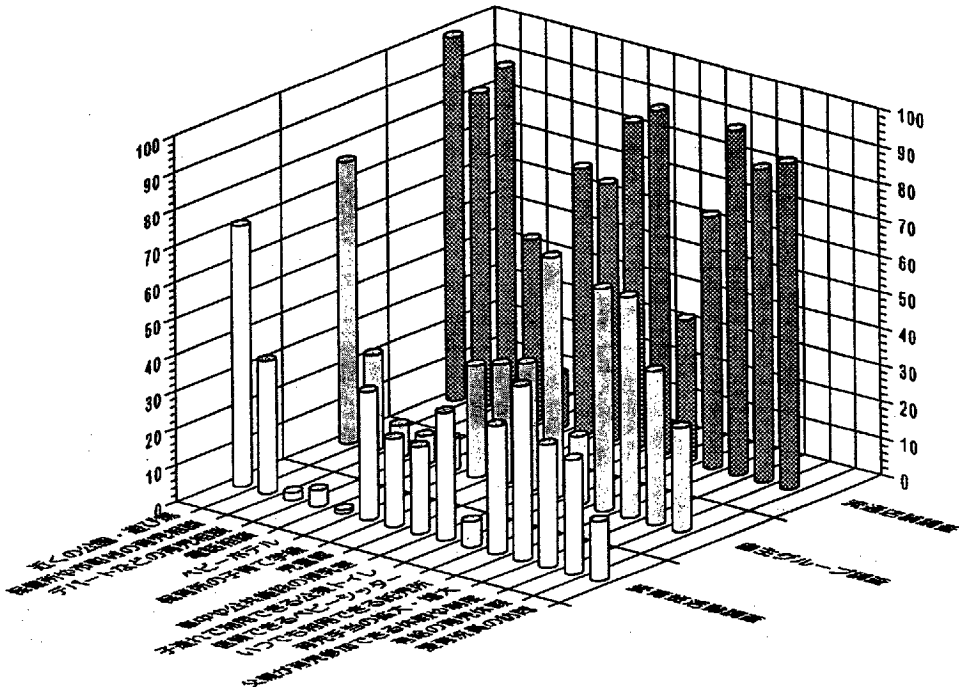
問：悩みや不安の相談相手



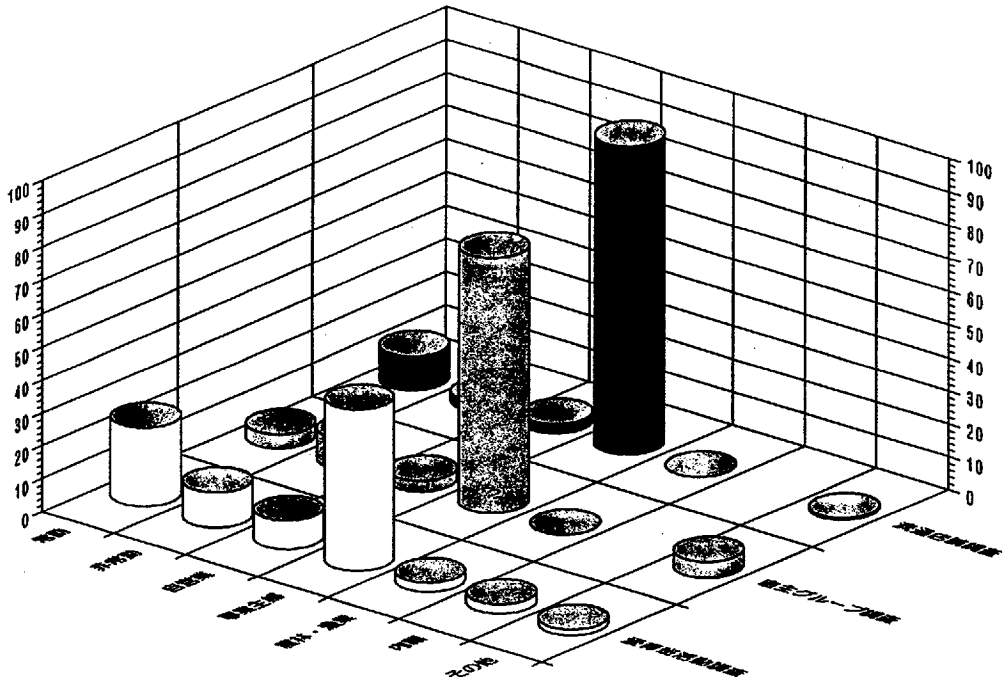
問：今までに子育てで利用したもの



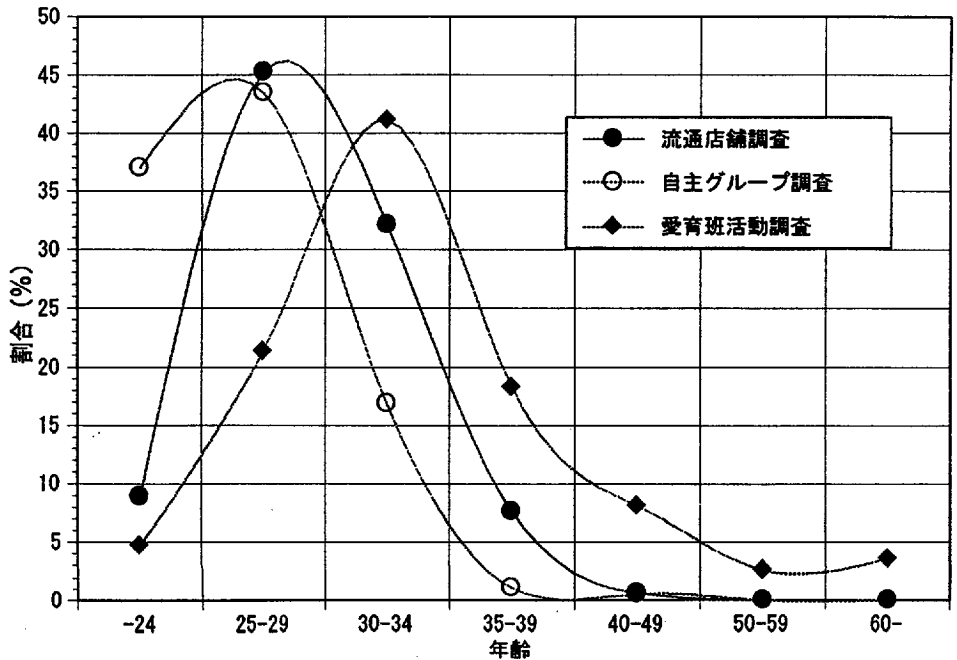
問：これから子育てで利用したい施設や制度



問：回答者の職業別分布



問：回答者の年齢分布





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



【研究の要約】今年度はリサーチセッションに基づき、全国零話相談室の実態調査、民間の草の根的母子保健活動を探るため、育児雑誌の投稿欄に投稿してきた母親たちに、そのグループ活動の内容などについて調査を行った。さらに、利用者のニーズと評価を求めて、流通店舗内の母子保健相談室に来室した相談者に対してアンケート調査を行った。また、農村部における歴史ある地域活動である愛育班活動について、住民の評価を計る目的で、地域住民に対するアンケート調査を実施した。次年度はこの結果をもとに、電話相談室、患者・親の会のディレクトリーの作成と、電話相談のあり方、各民間活動に対する行政の支援のあり方、行政の母子保健事業への取り込みについて検討する予定である。